

# 2020年9月期 中間報告書

2019年10月1日～2020年3月31日

証券コード：3636

## あるべき未来社会の実現に向けて、次の50年へ 三菱総合研究所は2020年9月に創業50周年を迎えます

### 株主のみなさまへ



当社は1970年、三菱創業100周年の記念事業として設立以来、わが国における民間シンクタンクの先駆けとして豊かな未来社会の実現に向けて歩みを続け、本年9月に創業50周年を迎えることとなりました。この間ご支援、ご厚情を賜りました株主様、お客様をはじめ、すべてのステークホルダーのみなさまに深く感謝申し上げます。

当社グループは、シンクタンク・コンサルティングサービス(TTC)とITサービス(ITS)を両輪として持続的成長を目指しております。2020年度は中期経営計画2020(2018年9月期～2020年9月期)の最終年度にあたり、総仕上げ

として、官民を横断する領域での「官民共創ソリューション事業」やAI(人工知能)などの先進技術を活用した新しいサービスの提供に力を入れてまいりました。

第2四半期累計期間の業績は、中期経営計画2020に沿った戦略・改革が奏功し、過去最高の利益水準を達成することができました。一方、足元では新型コロナウイルスの感染拡大により、国内外での経済活動が制約を受け、当社グループの事業活動や業績に影響を及ぼす可能性が出てきました。現時点では影響額の正確な把握が困難なため、業績予想は据え置きといたしました。また、中間配当は、期初予想どおり1株当たり50円としております。

世界は今、かつて人類が経験したことのない難局に直面しています。新型コロナウイルスとの戦いは長期戦になると言われていますが、総合シンクタンクとして、課題解決に向けた幅広い分野での提言を継続的に行うことにより、創業以来のミッションである豊かで持続可能な社会の実現に努めてまいります。引き続きご理解とご支援を賜りますよう、宜しく申し上げます。

代表取締役社長

森崎 存

#### 新型コロナウイルス 感染症に対する 当社の取り組み

- お客様・社員・家族の安全最優先の方針で対応
- 3月にいち早く在宅勤務体制に移行(最大時でMRI95%、DCS60%が実施)
- 三菱総研DCS出社者は、主に社会インフラ(金融)維持に従事
- 在宅勤務手当・出社手当を支給、オンライン医務室を設置
- 医療機関に対し日本経団連を通じてN95マスクを5,000枚寄付

# 創業50周年 三菱総研グループのあゆみ

三菱総合研究所は2020年9月に創業50周年を迎えます。当社は、本格化する情報社会を見据え、1970年に三菱創業100周年記念事業として三菱グループ27社の出資により設立されました。以来、英知と情報に基づいて、国内外の重要プロジェクトに参画しながら、社会やお客様の課題解決に貢献し続けてきました。

すべてのステークホルダーの皆さまに深く感謝するとともに、50年間の実績を活かしながら、あるべき未来社会の実現に貢献していきます。

## 1970年代

### 高度情報化社会に「情報」で貢献

- 「独立・学際・未来志向」を基本理念に独立した株式会社として設立
- ダイヤモンドコンピューターサービス(現三菱総研DCS)創業
- 米国航空宇宙開発の大型線形構造解析プログラム (NASTRAN) の導入・活用



## 1980年代

### 国内外の重要プロジェクトに参画

- スエズ運河経営管理システム設計計画調査
- 世界公共投資基金(GIF)の設立を提唱し、参画
- 空港整備関連、整備新幹線関連プロジェクト



CRAY-1(スーパーコンピュータ)の導入

## 1990年代

### 地球温暖化などの社会課題への取り組み強化

- ITS (高度道路交通システム) の推進調査
- 地球温暖化対策関連政策に関する調査・研究

## 2000年代

### ITソリューション事業 開始、上場

- CO<sub>2</sub>排出権取引実証実験の実施
- メガバンクのシステム統合
- 三菱総研DCS連結子会社化、ITソリューション事業を強化
- 東証二部に株式上場 (2009年)

## 2010年代

### 構想から実践まで目指すThink & Act Tankへ

- 震災復興事業支援
- デジタル地域通貨事業の開発・実証
- 東証一部銘柄に指定 (2010年)



2009年9月14日  
東京証券取引所に株式上場



2020年ー

ありたい未来社会実現への挑戦

### 50周年記念研究

#### 「100億人・100歳時代」に豊かで持続可能な社会の実現

50年後の世界と日本を見据え、人間中心社会の実現のため、今後1年間をかけて、ありたい未来の社会像を描き、その実現手段を検討していきます。

### 未来社会構想2050 (2019年10月発表)

2050年における世界トレンドを予測し、日本が豊かで持続可能な社会を実現するための取り組みを提言

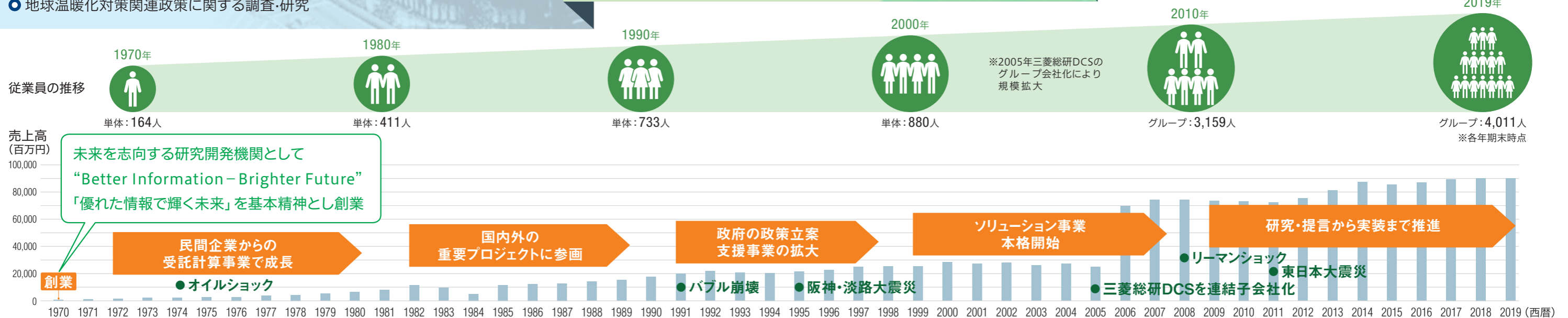


当社公式サイト  
50周年記念ページをご覧ください  
[www.mri.co.jp/50th/index.html](http://www.mri.co.jp/50th/index.html)



### 新型コロナウイルス危機対策: 分析と提言

- 公式サイトに特設ページ開設  
[www.mri.co.jp/knowledge/column/covid-19/index.html](http://www.mri.co.jp/knowledge/column/covid-19/index.html)
- 感染拡大終息後 (ポストコロナ) に向けた研究活動開始



## Topics

### 三菱総研DCS社長挨拶

昨年10月に、三菱総研DCS(以下DCS)代表取締役社長に就任した松下です。

DCSは1970年の創立以来50年にわたり、IT(情報技術)プロフェッショナルを多数擁する強みを生かして、情報システムによるお客様の経営課題解決を事業の柱としてきました。

今日、情報システムは、社会や生活を支えるインフラ機能になっており、便利で豊かな社会の実現には不可欠な存在といえます。一方で、社会的価値観の変化やITの飛躍的進化により、この分野では破壊的ともいえるイノベーションが進んでいます。

変化の時は、チャンスの時でもあります。DCSは、変化

に主体的・能動的に対応した経営及び事業の構造改革を進めており、これからも三菱総研グループの中核企業として、持続的な成長を目指してまいります。

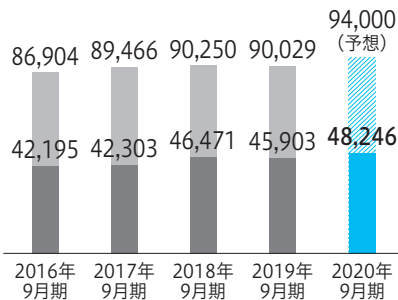


## 決算ハイライト

### 売上高

(単位:百万円)

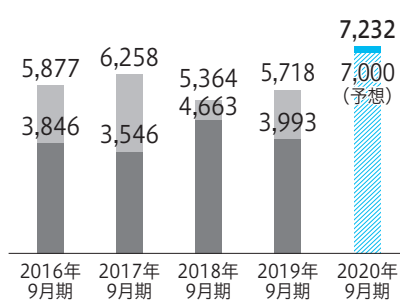
482億46百万円  
前年同期比 5.1%増



### 経常利益

(単位:百万円)

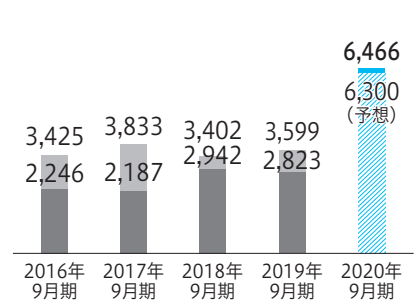
72億32百万円  
前年同期比 81.1%増



### 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

(単位:百万円)

64億66百万円  
前年同期比 129.0%増



### 株主還元 (2020年9月期1株当たり配当金)

中間配当

50円 前年同期比 5円増額

期末配当(予想)

50円 前年同期と同額

年間配当(予想)

100円 前期比 5円増額

### 株主メモ

事業年度 10月1日から翌年9月30日まで

定時株主総会 12月

基準日 定時株主総会議決権行使株主確定日 9月30日

期末配当金支払株主確定日 9月30日

中間配当金支払株主確定日 3月31日

(上記のほか必要ある場合は、取締役会の決議によりあらかじめ定めた日)

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

東京都府中市日鋼町1-1

0120-232-711

(フリーダイヤル 9:00~17:00 土・日・祝日を除く)

郵送先 〒137-8081

新東京郵便局私書箱第29号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

## MRI 株式会社三菱総合研究所

〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目10番3号

TEL 03-6705-6001 [www.mri.co.jp](http://www.mri.co.jp)

